

「各分科会活動報告と今後の方向性」

各分科会代表



スマート
ウエルネス
コミュニティ

動脈硬化予防啓発分科会 中間報告

2021年12月3日
動脈硬化予防啓発分科会
座長 大内尉義

webサイト「血管健康くらぶ」による啓発活動

■ 2021年6月1日から運用開始

- 一般社団法人動脈硬化予防啓発センターからwebサイトシステム、コンテンツデータおよび著作権の移行が5月末に完了。
- 6月1日から市民への啓発活動を継続運用。



webサイト「血管健康くらぶ」による啓発活動

■コンテンツの更新

●「なんでも相談室」に過去の質問と回答を追加。

＜掲載した質問内容(回答は略)＞

「高血圧」(9月5日up)

病院で血圧を測ると高くなります。自宅では高くないのに・・・(男性・70代)／血圧の変動が激しいのですが・・・(男性・70代)

「薬・サプリ」(10月8日up)

コレステロールを下げる薬で、スタチンとエゼチミブの違いは？(女性・70代)／コレステロールを下げる薬(スタチン)をやめる目安は？(男性・50代)

「健康診断・検診」(11月8日up)

胸部レントゲンで動脈硬化がわかるの？(女性・50代)／non HDLコレステロールが200を超えて・・・(男性・50代)

●「用語集」に用語解説を追加予定。

高血圧

過去の質問と回答

病院で血圧を測ると高くなります。自宅では高くないのに・・・ 男性 70代

Q. 病院で血圧測定すると上が150以上、下が90以上ですが、自宅で朝と夜に計測した1カ月平均値は、朝は上が118で下が77 夜は上が130で下が83と高くありません。どうしたらいいでしょうか？

血圧の変動が激しいのですが・・・ 男性 70代

Q. 血圧が170/60と高かったり、100/50と低かったりかなり変動します。少し心配です。血管が硬くなった証拠でしょうか？

薬・サプリ

過去の質問と回答

コレステロールを下げる薬(スタチン)をやめる目安は？ 男性 50代

Q. 6カ月前からビタバスタチン1mgを1日1回服用し、190前後あったLDLコレステロールが基準値内に収まるようになりました。薬をやめてもいいでしょうか。薬をやめる目安を教えてください。

コレステロールを下げる薬で、スタチンとエゼチミブの違いは？ 女性 70代

Q. yGTPとLDLコレステロールが高くスタチン系の薬のビタバスタチンCaを飲んでいますが、エゼチミブのほうがいいと聞きました。どんな違いがあるのでしょうか？ 変えた方がいいのでしょうか？

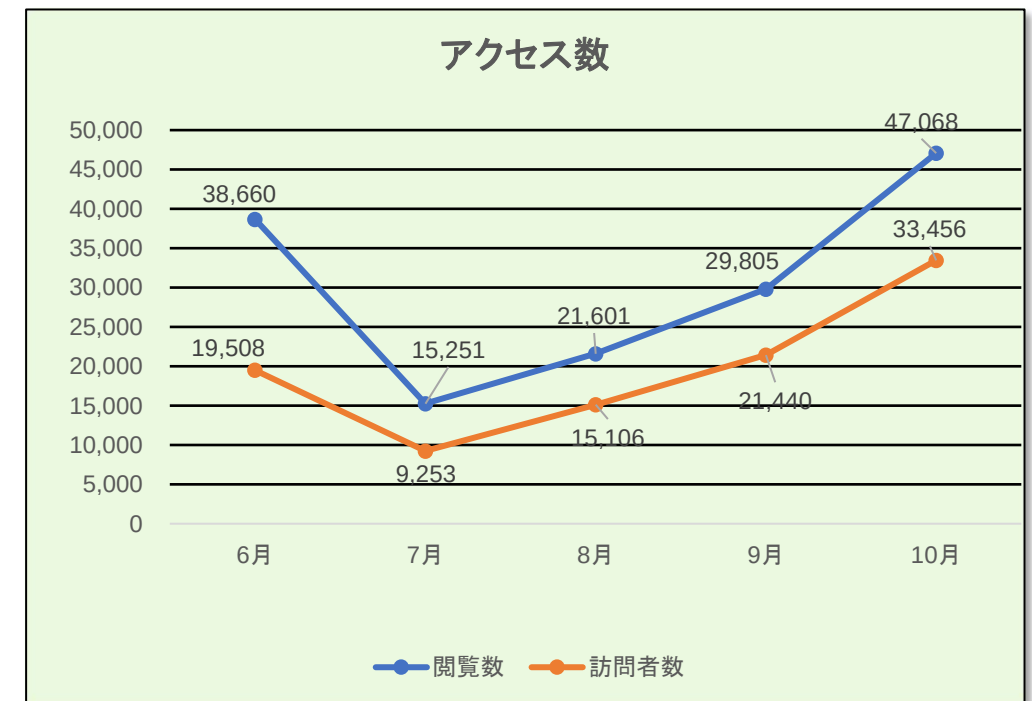
webサイト「血管健康くらぶ」による啓発活動

■ Facebookを活用

「血管健康くらぶ」の公式Facebookに投稿記事を掲載し、webページへのアクセスを促している。

■ アクセス数(閲覧数・訪問者数)

- ・6月は移行の点検作業を含む。
- ・7月にいったん落ち込んだが、8月から順調な回復を見せている。



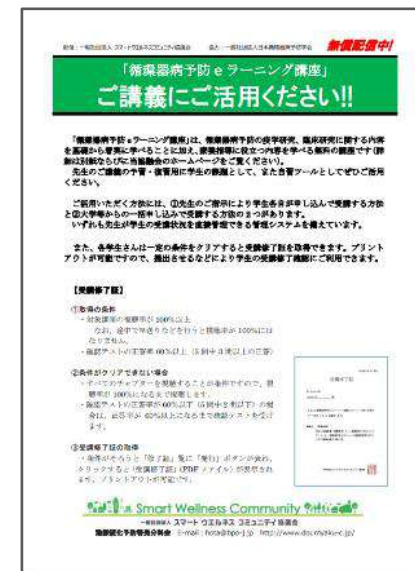
循環器病予防eラーニング講座による人材育成

■2021年6月1日から運用開始

5月末に一般社団法人動法脈硬化予防啓発センターからコンテンツデータおよび著作権の移行が完了。

■新規受講者増への施策

9月10日にチラシ(2種類)を医療系大学(約250校)および日本循環器病予防学会の理事・監事・評議員の方々(約200人)に配布。



循環器病予防eラーニング講座による人材育成

■新規受講者数

2021年6～10月の新規受講者数は144人（前年同期間は368人）。 ※2013年開講からの累計は6214人。

＜新規受講者減の要因＞

- ・コロナ禍において例年行われていたセミナー等が中止となり、活用が少なかったことが影響している。
- ・2021年3月に3講義を追加したが、例年に比べ追加数が少なく、講座の新鮮味に欠け、広告効果を出しきれなかったことも要因の一つ。

新規受講者数

2021年	新規受講者数
1月	69
2月	68
3月	63
4月	84
5月	48
6月	27
7月	17
8月	16
9月	36
10月	48
11月	
12月	
計	476

■新講座開講の検討

フレイルに関する講座の開講を検討中。

動脈硬化予防啓発分科会設立記念シンポジウム

動脈硬化予防啓発分科会が2021年4月に発足後、順調に滑り出したことを記念して以下の要領で開催予定。

日 時:2021年12月13日(月) 14:00～16:30

形 式:Webでのライブ配信

内 容: 1) Smart Wellnessと動脈硬化(30分)

大内尉義(虎の門病院、SWC協議会 動脈硬化予防啓発分科会座長)

2) 動脈硬化により起こる病気—その診断と治療(30分)

今井 靖(自治医科大学、SWC協議会 動脈硬化予防啓発分科会メンバー)

3) 動脈硬化予防のためのライフスタイル(30分)

岡山 明(生活習慣病予防研究センター、SWC協議会 動脈硬化予防啓発分科会メンバー)

4) 脳卒中・循環器病対策基本法とそのねらい(30分)

中村正和(地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター、SWC協議会 動脈硬化予防啓発分科会副座長)30分

まとめ(10分)

大内尉義(虎の門病院、SWC協議会 動脈硬化予防啓発分科会座長)

フレイル啓発プロジェクトとの合同シンポジウム

動脈硬化の進行とフレイルの発症との関連性が注目されている。

そこで、両者の関連性を踏まえ、それぞれの病態の理解とその予防に焦点をあてたフレイル啓発プロジェクトとの合同シンポジウムを開催する。

開催：来年度実施予定

形式・内容：今後両者で詰めていく

2021 年一般社団法人スマートウェルネスコミュニティ協議会 中間報告会

分科会・PJ名： フレイル啓発プロジェクト

■第5期

- 自治体連動フレイル啓発イベントの実施
2022年02月01日:飯塚市フレイの日記念講演会(予定)
- 「フレイル」商標申請・審議中
- フレイル啓発プロジェクトメンバー増員
新規加入；東京電力エナジーパートナー株式会社
企画提案；株式会社NTT東日本-関信越

分科会活動報告

「健幸アンバサダー・人材育成分科会」 (健幸アンバサダーPJの進捗状況を含む)

清水精一 副座長
(大塚製薬株式会社 部長)



スマート
ウエルネス
コミュニティ



2020年度「第9回 健康寿命をのばそう! アワード」
厚生労働省健康局長優良賞受賞

中間報告会 健幸アンバサダー・人材育成分科会

2021年12月3日
健幸アンバサダー・人材育成分科会 座長 大野裕

2021年度 健幸アンバサダー (SWA:Smart Wellness Ambassador) 活動方針

赤字：事業計画後の追加事項

1. 多様な健康課題解決に向け、健康課題に見合った情報を拡散

地域の健康課題とターゲット層（高齢者・就労層・妊産婦・子供）に応じた情報提供
各地域で有効な広報手段を活用した情報拡散（ケーブルTV・SNS・コロナワクチン接種時等）
SWAの養成拡大を図るためのファシリテータ（講師）養成

2. コンテンツ作成（SWA通信）

【重点テーマ】 ●ウェルビーイング ●生活習慣病・介護予防 ●健康二次被害
●子供の心身の健康 ●妊産婦の心身の健康 ●高齢者のフレイル予防 等

【新しい取り組み】

看護・福祉・健康づくりに関する大学生との連携（大学教員用の教材・マニュアルを作成）
キッズSWA（小学生）養成のためのコンテンツ作成（講習テキスト・動画、講師用マニュアルも作成）

3. SWA活動の活性化

川柳コンテスト開催、**「こころコンディショナー」との連携、COPD（慢性閉塞性肺疾患）予防動画の配信**

4. 事業の効果検証

SWAのインフルエンス力や情報拡散に与えた影響度等に関する分析評価

5. 厚生労働省健康局「地域の健康増進支援活動支援事業」として採択

47都道府県で2万4千人の健幸アンバサダーが活動中

累計養成人数 (2021.11.7現在)
合計24,342人

養成人数



ファシリテータ (講師)
156人 (2021.10.30現在)

キッズアンバサダー
90人 (2021.11.12現在)

[北海道]
・札幌市 334人
・苫小牧市 264人
・名寄市立大学 26人

[岩手県]
・遠野市 264人
・滝沢市 66人

[秋田県]
・湯沢市 233人

[福島県]
・伊達市 32人
・会津若松市 169人

[京都府]
・八幡市 285人
・南丹市 119人

[山形県]
・中山町 156人

[栃木県]
・足利市 7人

[新潟県]
・見附市 473人
・こぶし園 19人

[埼玉県]
・美園タウンマネジメント 109人
・美里町 170人

[奈良県]
・田原本町 200人

[大阪府]
・阪南市 43人
・高石市 125人
・大阪いずみ市民生活協同組合 313人

[茨城県]
・クラフト 29人
・もりや市民大学 3人

[兵庫県]
・川西市 153人
・西脇市 245人

[千葉県]
・白子町 99人
・三井不動産 90人
・つくばウエルネスリサーチ 41人

[広島県]
・耕道会館 72人

[山口県]
・宇部市 465人

[福岡県]
・飯塚市 320人
・川崎町 89人
・田川市 42人

[鹿児島県]
・指宿市 330人

[愛知県]
・安城市 36人
・田原市 102人
・スギホールディングス 120人
・岡崎げんき館市民会議 96人

[静岡県]
・静岡県 994人
・磐田市 307人
・三島市 460人
・松崎町 30人
・島田市 289人
・静岡県食育協会 318人
・損害保険ジャパン 61人
・清水町 12人
・SOMPOひまわり生命保険 13人

[全国47都道府県]・カーブスジャパン1,850店舗 12,166人

[東京都]
・多摩市 39人
・第一生命 1066人
・イオンリテール 878人
・タニタヘルスリンク 94人
・健康・体力づくり事業財団 18人
・筑波大学 11人
・武蔵野大学 40人

・白寿生科学研究所 1,289人
・森永乳業 155人
・大塚製薬 30人
・SWC協議会 29人
・日本未病システム学会 11人

他16団体54人

[宮崎県]
・小林市 115人

[徳島県]
・美馬市 34人

[愛媛県]
・西条市 90人

2021年度実施計画 キッズSWAの養成拡大

足利市（11/12実施）、島田市（12/24実施予定）で開催
講師用のマニュアルやテキスト等を作成し、今後、全国展開を図る

目的

- ① 子どもたちの健やかな健幸のためのヘルスリテラシーを向上できる
- ② 家族や祖父母など、身近な大切な人に、健幸情報を伝えることができる
- ③ 我が国の健康課題を理解し、社会貢献の意識を醸成する

カリキュラム

項目	時間	内容
キッズ健幸アンバサダーの使命と役割	10分	我が国の健康課題を理解し、社会貢献の意識を醸成する
生活習慣病予防	15分	クイズ形式で生活習慣予防について学ぶ
健康と運動	15分 実技	体を動かしながら、運動をすることのメリットやしないことのデメリットについて学ぶ
大切な人への情報の伝え方	10分	身近な大人に情報を伝達する手法を理解する (クイズ・ロールプレイ・発表)

看護・福祉・健康関連大学での授業やゼミとしてSWA養成を実施



武蔵野大学（8/24実施）名寄市立大学（10/4実施）で開催

教員・学生の声：就職活動において専門性をアピールする材料となる

- ・就職活動の面接時にSWA資格がPR材料になった。
- ・大学進学率が72%で大学の卒業証書だけでは、就職が難しくなっている。
- ・SDGsの取り組みとして実施



8月24日武蔵野大学での様子

健幸アンバサダーの活動の活性化に向けた連携

1. こころコンディショナーの利用（作業中）

- ・公式HPから「こころコンディショナー」を健幸アンバサダーが利用できるよう整備



認知行動療法を活用して
こころを元気にするAIチャットボット
「こころコンディショナー」

大野裕 医師・監修



2. COPD（慢性閉塞性肺疾患）動画の配信

- ・一般社団法人クリーンエアとアストラゼネカ社と連携し、「COPD」予防の動画を健幸アンバサダーフォローアップ講座での動画として活用



3. 公式LINEからのスギ薬局ポイント付与（作業中）

- ・公式LINE登録者がスギ薬局のポイントが付与されるよう連携



eラーニングシステムの活用



公式HPより直接受講できる新eラーニングシステムを開始



課題

講座受講時間の確保が難しい



対策

好きな時間にeラーニングを活用して受講



新人研修や健康関連事業に
携わる職員を対象に養成



コロナ禍でも自宅で資格取得



養成拡大



学生のカリキュラムとして活用



オンライン型ファシリテータ養成講座の開催

【目的】ファシリテータの追加養成でコロナ禍でも全国で自律的に健幸アンバサダーを養成できる基盤の確立

【開催概要】

開催日時：8月19日（木）

開催場所：オンライン（足利市）

資格取得者：7名

開催日時：9月30日（木）

開催場所：オンライン（大阪いずみ市民生活協同組合）

資格取得者：12名

開催日時：10月25日（月）

開催場所：オンサイト（福島県食育協会）

資格取得者：42名

開催日時：11月5日（金）

開催場所：オンライン（SWC協議会）

資格取得者：合否審議中



川柳コンテストおよび表彰の実施

【目的】健幸アンバサダー活動の活性化

2021年度 健幸アンバサダー川柳コンテスト
投票受付

1. 川柳コンテストを開催

【実施概要】

募集期間：10月1日（金）～10月31日（日）

審査方法：健幸アンバサダー実行委員会とHPからの一般投票

受賞発表：大賞1名・優秀賞2名をHPに掲載

応募作品：130作品応募（**現在投票受付中**）

投票
お願いします



【昨年受賞作品】

健幸の タスキが渡る ご町内

健幸は 歩いた利子で 幸齢者

健幸が 届く嬉しさ 病み上がり

健幸を 口から口へ マスクして

健やかを 幸につなげる 伝道師

健幸へ 全集中だ アンバサダー

ペンネーム ほり・たく

ペンネーム 春爺

ペンネーム ぴろぴ

ペンネーム 西東南北

ペンネーム 桃李

ペンネーム らくちゃん



2. その他、活動実績に応じた表彰制度実施中

「健幸アンバサダー通信」配信実績



適度な運動

Vol.6	サルコペニア予防と筋力トレーニング
Vol.8	ダイエット
Vol.10	いきいきカラダ習慣
Vol.12	フレイル予防(運動)
Vol.15	座りすぎ予防
Vol.16	脂肪筋と糖尿病

適切な食生活

Vol.2	生活習慣病予防
Vol.8	ダイエット
Vol.10	いきいきカラダ習慣
Vol.11	高血糖
Vol.13	フレイル予防(口腔・栄養)
Vol.16	脂肪筋と糖尿病

禁 煙

臨時 配信	COPD
----------	------

健診・検診の受診

Vol.7	保健指導のすすめ
-------	----------

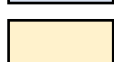
コロナ感染予防関連

臨時 配信	免疫力を高める運動編
	免疫力を高める栄養編
	隠れCOPDを発見して、 新型コロナウイルスに備えましょう!
Vol.22	健康二次被害
Vol.23	健康二次被害

その他

Vol.1	健幸とまちづくりの関係
Vol.3	自治体別がん情報
Vol.9	認知症
Vol.14	社会的フレイル
Vol.17	歯と口腔の健幸 オーラルフレイルに注意!
Vol.18	こころの健康づくりを保つコツ
Vol.19	あなたと大切な人の命を守る 防災
Vol.20	女性の健康
Vol.21	フレイル予防
Vol.24	子どもの健康
Vol.25	妊産婦の心身の健康
Vol.26	高齢者のフレイル予防
臨時 配信	睡眠負債ためていませんか
	熱中症予防

協賛団体募集中!

-  2021年度発行済み
-  2021年度発行予定

健幸アンバサダー・人材育成分科会開催実績

	開催日	内容
実行委員会	2020年6月17日	・2021年度の委員の選出、活動計画の検討 ・健幸アンバサダー養成者拡大策と活動活性化策の検討 ・健幸アンバサダー通信の配信方針の検討
編集委員会	2020年6月17日	・健幸アンバサダー通信の配信方針の検討
	5回の通信発行月前に適宜 WEBもしくはメール会議	・健幸アンバサダー通信内容の編集
健幸アンバサダー通信 認証委員会	5回の発行月前にメール審議	

分科会活動報告

「AI・情報銀行データ利活用分科会」

岡田 幸彦 座長
(筑波大学 准教授)



スマート
ウエルネス
コミュニティ

AI分科会/SWCDCC会合

2021年12月中間報告資料

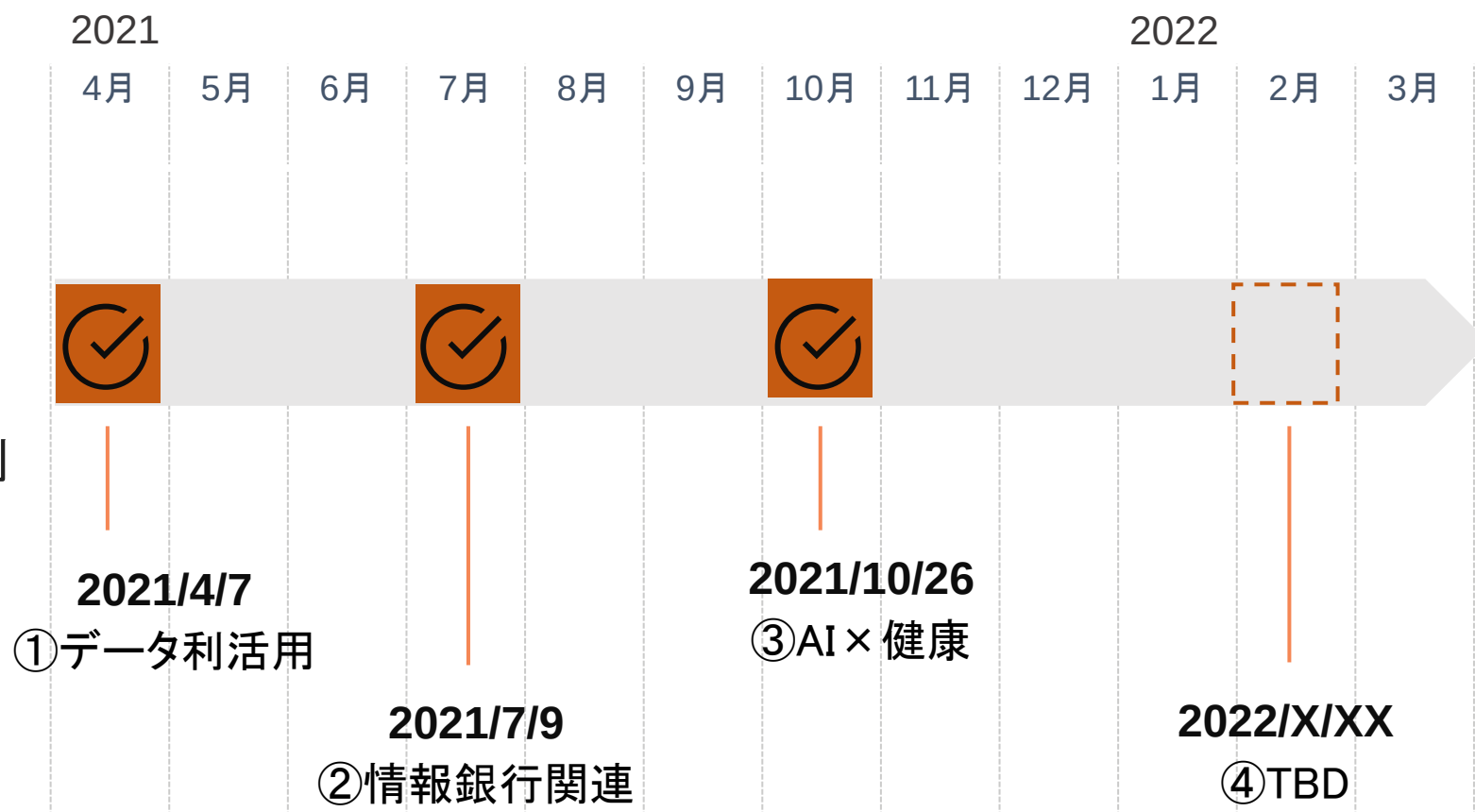
AI分科会/SWCDCC会合 第5期活動について

活動方針

- データ利活用の事例開発と啓発
- 情報銀行活用の事例開発と啓発
- SWC-AIの啓発と進化
- SWCDCC(Smart Wellness Community Data Collaboration Consortium)での事例開発
- Co-creative Digital Innovation for Smart Wellness Communityの事例開発

上記を活動の軸としつつ、「健康×AI」、「データヘルス/コラボヘルス」等、分科会参加企業に広くメリットある話題の提供及びビジネス創出に向けた分科会を企画、実施。

主な活動実績(分科会開催)



AI分科会/SWCDCC会合 活動実績①

4/7開催分科会



プレゼンター



オムロンヘルスケア株式会社 鹿妻洋之 渉外担当部長



テーマ

ヘルスケアサービス・ソフトウェア開発における規制等の動向について



ディスカッション概要

データ収集・活用を主とするヘルスケアサービスを展開する上で、特に留意が必要と思われる下記論点について、現状の議論状況や規制状況についてプレゼンターより説明、紹介した後、参加会員にてディスカッション。

1. プログラム自体の医療機器該当性について
疾病治療を目的としたものについてどのように考えるべきか（患者への疾病治療の寄与度、独自のアルゴリズムの有無など、当該プログラムのリスク蓋然性の程度など）
2. 民間PHRを巡る議論について
法人間での個人情報の扱いについては各種制限がある中で、個人のPHR活用が期待されている。
現在の主な論点（PHR事業者の該当性判断、PHRサービスに定義について等）を俯瞰し、意見交換。

AI分科会/SWCDCC会合 活動実績②

7/9開催分科会



プレゼンター



フェリカポケットマーケティング(株) 納村哲二 代表取締役社長



テーマ

データ利活用(情報銀行含む)による地域活性化について



ディスカッション概要

データの利活用し、地域経済や地域コミュニティの活性化を目指しているフェリカポケットマーケティングによる最新の取り組み事例や今後の展望を紹介。

【主な内容】

- 地域通貨やアプリを介したポイントサービスなどを活用した地方創生事業や地域経済の循環を企図した事例紹介
- 地域課題の解決のためのデータ利活用、ソリューション
- 課題多き環境の中で、幸福感に対する意識変容、行動変容を促し、さらに価値観の変容を目指す同社の今後の取り組み。目指す世界観

AI分科会/SWCDCC会合 活動実績③

10/26開催分科会



プレゼンター



Ubie株式会社 阿部吉倫 共同代表取締役 医師



テーマ

デジタル技術と医療の融合によるスマート医療・スマートヘルスケア社会の構築
～地域新産業の創出に向けて～



ディスカッション概要

第3回日本サービス大賞・厚生労働大臣賞および審査員特別賞を受賞したAI問診ユビーの開発背景や生活者接点で発展したAI受信相談ユビーの開発及び取り組みをプレゼンターより紹介。さらに自治体との連携による地域包括ケアとしてAIがスマートウエルネスコミュニティに貢献する可能性を参加者と議論。

【主な内容】

- 医療現場の課題、医師の働き方改革（事務作業の効率化）→AI問診ユビーの開発
- 医療と患者のメディカルディスタンスにおける課題→AI受診相談ユビーの開発
- 地域医療に対するAI技術の活用へ
「早期発見・早期受診」、「かかりつけ医支援」、「病診連携」をAIで下支えし、医療資源の最適配分の実現へ

AI分科会/SWCDCC会合 今後に向けて(FY22~)

FY21ではオンラインでの情報発信がメインであったが、FY22では課題解決型の分科会の開催も視野に入れた活動を目指す。

開催形態

コンテンツ案

プロジェクトベース案

- 会員団体が抱えている課題感やニーズを共有し、その具体的なソリューションについてのアイディエーションやディスカッションを行う。(例: 会員自治体が抱えている課題など)
- 課題ドリブンで会員団体間におけるニーズとシーズのマッチングを探る。

セミナー企画・情報発信案

データ利活用、AI、ヘルスケア等、参加企業にメリットあるテーマについての情報発信やセミナーコンテンツの企画

分科会活動報告

「スポーツ・レガシー分科会」

(健幸スポーツの駅 &
健幸コンシェルジュPJの進捗状況を含む)

河野 一郎 座長

(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 副会長)

スポーツ&レガシー分科会

- 2021年(令和3年)度の中間報告 -

1

コロナ禍における「スポーツと健康」についての検討

コロナ禍におけるTokyo2020大会「選手村」フィットネスセンターの活動
～Medical Conditioning と Physical Conditioning の 連携～

2

健幸スポーツの駅・健幸コンシェルジュの拡大

- ・ 11/16(火) 静岡県清水町にて「健幸コンシェルジュ養成講座」を実施し、町職員(保健師や管理栄養士等)、町スポーツ施設等の指導員、地域スポーツクラブ等の指導員 等 28名を新たに「健幸コンシェルジュ」に任命。

3

スポーツ療法の推進

- ・ コミュニティを対象に、地域内の自治体・民間の健康増進メカニズムに医療機能を組み込む。
- ・ 医療関連プレーヤーとして、医師に加え、健康・福祉事業者(保健師等)を想定。
- ・ 新しい発想での社会保障を目指す。

コロナ禍におけるスポーツ

- 選手村におけるフィットネスジムの事例 -





② フィットネスセンターにおける対策

選手団に運動やフィットネスの環境を提供。競技へのコンディションを整えるうえで、アスリートにとって非常に重要、不可欠な施設であるため、徹底した感染防止策を実施

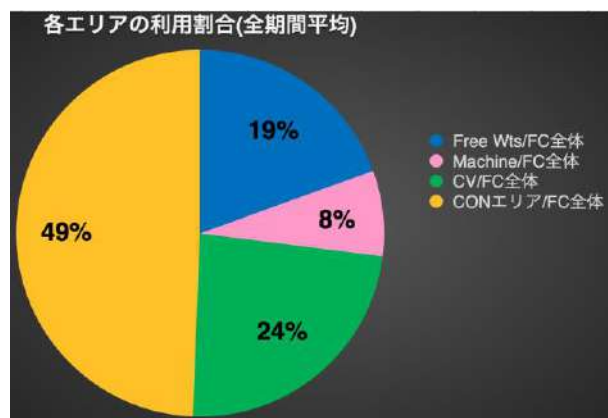
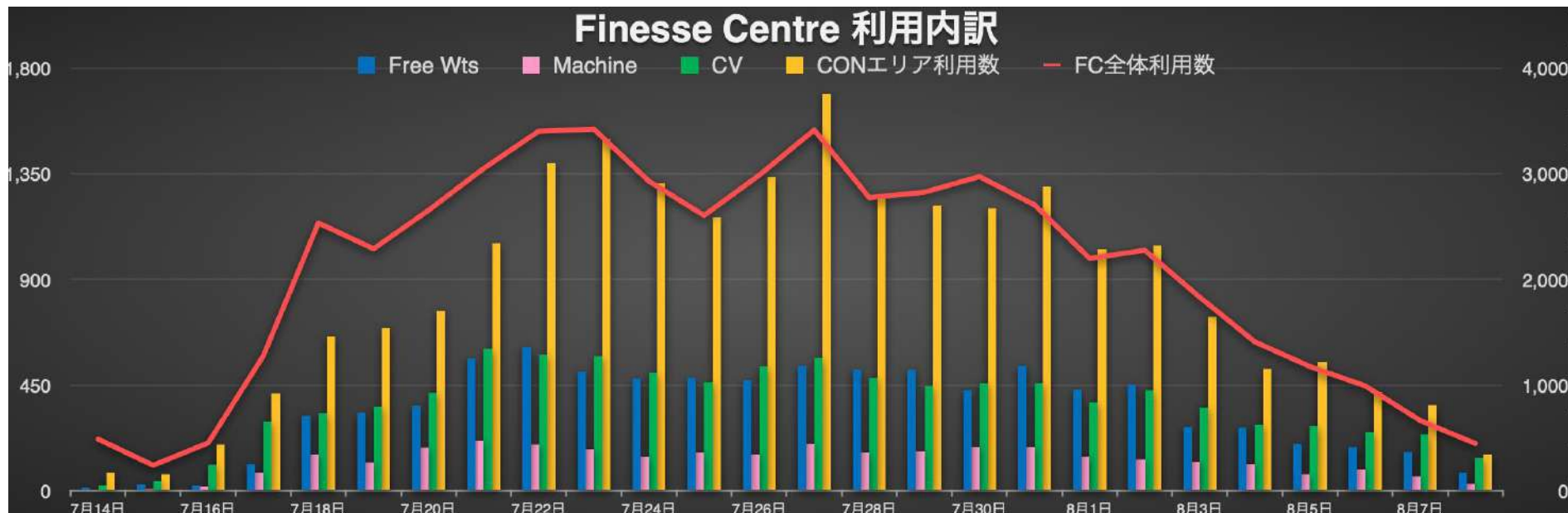
- ☑ 混雑緩和のため、利用者をアスリート優先にする等の利用ルールの策定を検討
- ☑ 飛沫対策として、トレーニング機器間にアクリル板等を設置
- ☑ トレーニング機器・手指消毒の徹底、換気設備の稼働など

③ 選手村総合診療所における対策

アスリートに対し、救急科、整形外科等 8 診療科と薬剤、理学療法等 4 部門による医療サービスを総合的に提供。感染防止に万全を期すとともに、必要な医療を提供する方策を検討

- ☑ 診療科ごとの感染リスクを踏まえた診療手順の策定と感染防止策の徹底
- ☑ 予約制の導入により特定の時間に患者が集中することを防止
- ☑ 受診対象は緊急対応を除きアスリートに限定することを検討

オリンピック 開村(7月13日)～閉村(8月11日)
開会式 7月23日 閉会式 8月8日

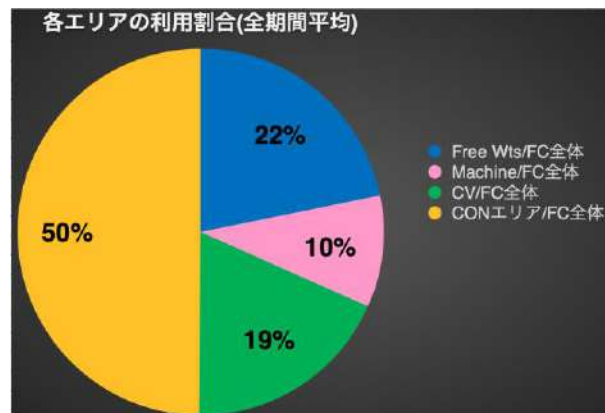


延べ利用人数 54,039人

ピーク時 約 3,000人/日

※R-body project 様より資料ご提供

パラリンピック 開村（8月17日）～閉村（9月8日）
開会式 8月24日 閉会式 9月5日



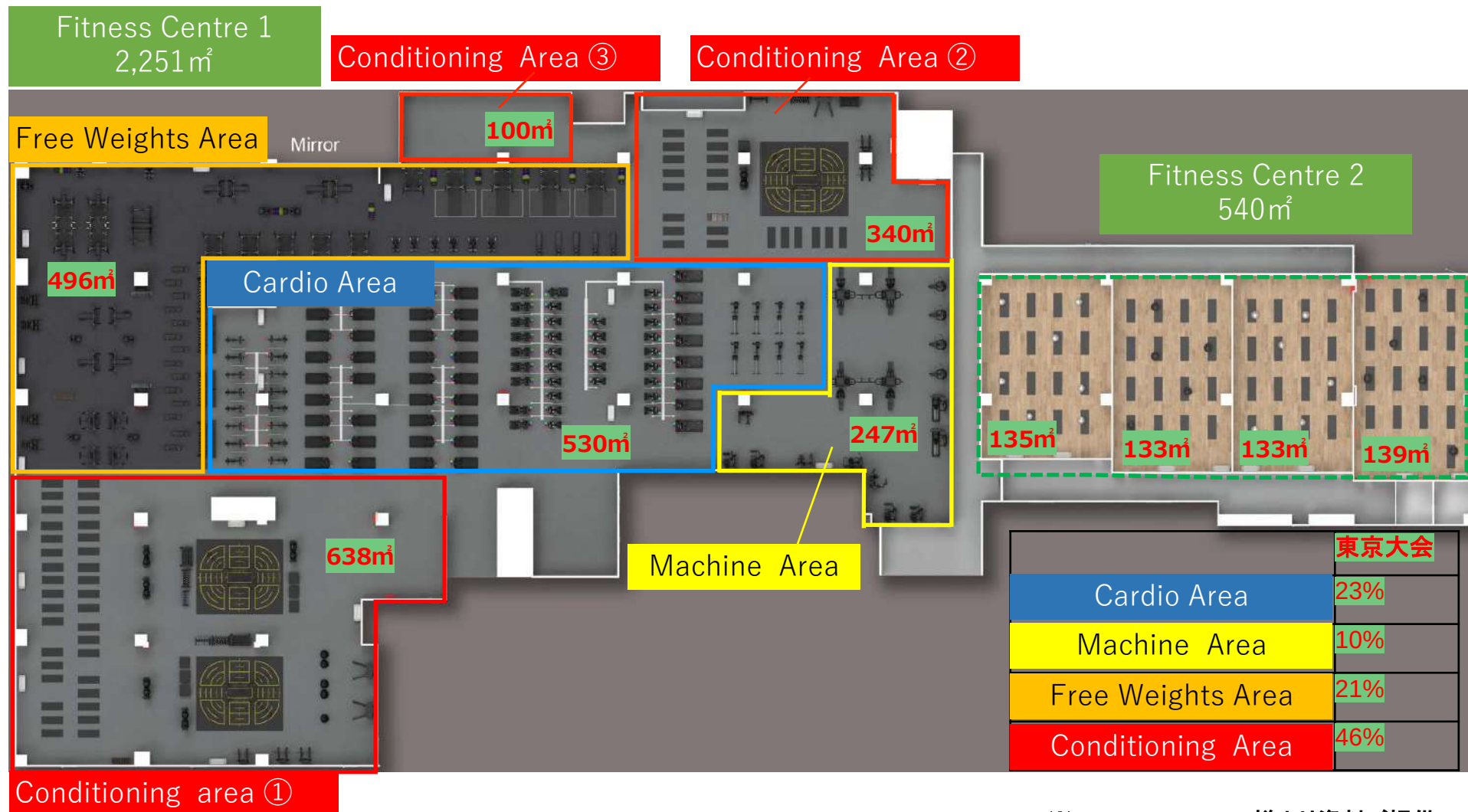
延べ利用人数 17,953人
(Aa:7,944人、Ao他:10,009人)

※Aa⇒選手 Ao他⇒監督、コーチ、団長

ピーク時 約 1,300人/日

※R-body project 様より資料ご提供

【 マルチファンクションコンプレックス (MFC) 】 3階 フィットネスセンター2,791㎡



※R-body project 様より資料ご提供

CSM 32名
FCOC 39名



※R-body project 様より資料ご提供



※R-body project 様より資料ご提供

トータルコンディショニングサポート

Core Activity

Medical Conditioning (Polyclinic) ↔ Physical Conditioning (Fitness Center)



※R-body project 様より
資料ご提供

レガシーとしてスポーツ医療のWorld Standardに

正しく恐れ、正しく対応



リスクマネジメント



Under Control

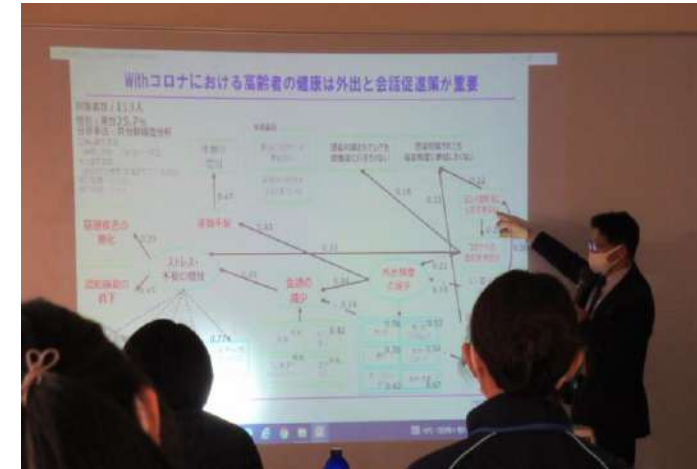
健幸スポーツの駅・ 健幸コンシェルジュの拡大

静岡県清水町「健幸コンシェルジュ研修養成会」

日 時:2020年11月16日(火)14:00~16:00

会 場:図書館・保健センター複合施設「まほろば館」

受講者:28人。町職員(保健師や管理栄養士等)、町スポーツ施設等の指導員、地域スポーツクラブ等の指導員 等



※静岡県清水町様より資料ご提供

分科会活動報告 「まちづくり分科会」

岸井隆幸 座長
(日本大学 特任教授)

一般社団法人SWC協議会

「まちづくり分科会」
中間報告会資料

2021年 12月 03日

座長 岸井 隆幸 日本大学特任教授

参加団体 47団体(2021年09月末時点)

※ 2021年度 5団体が休会

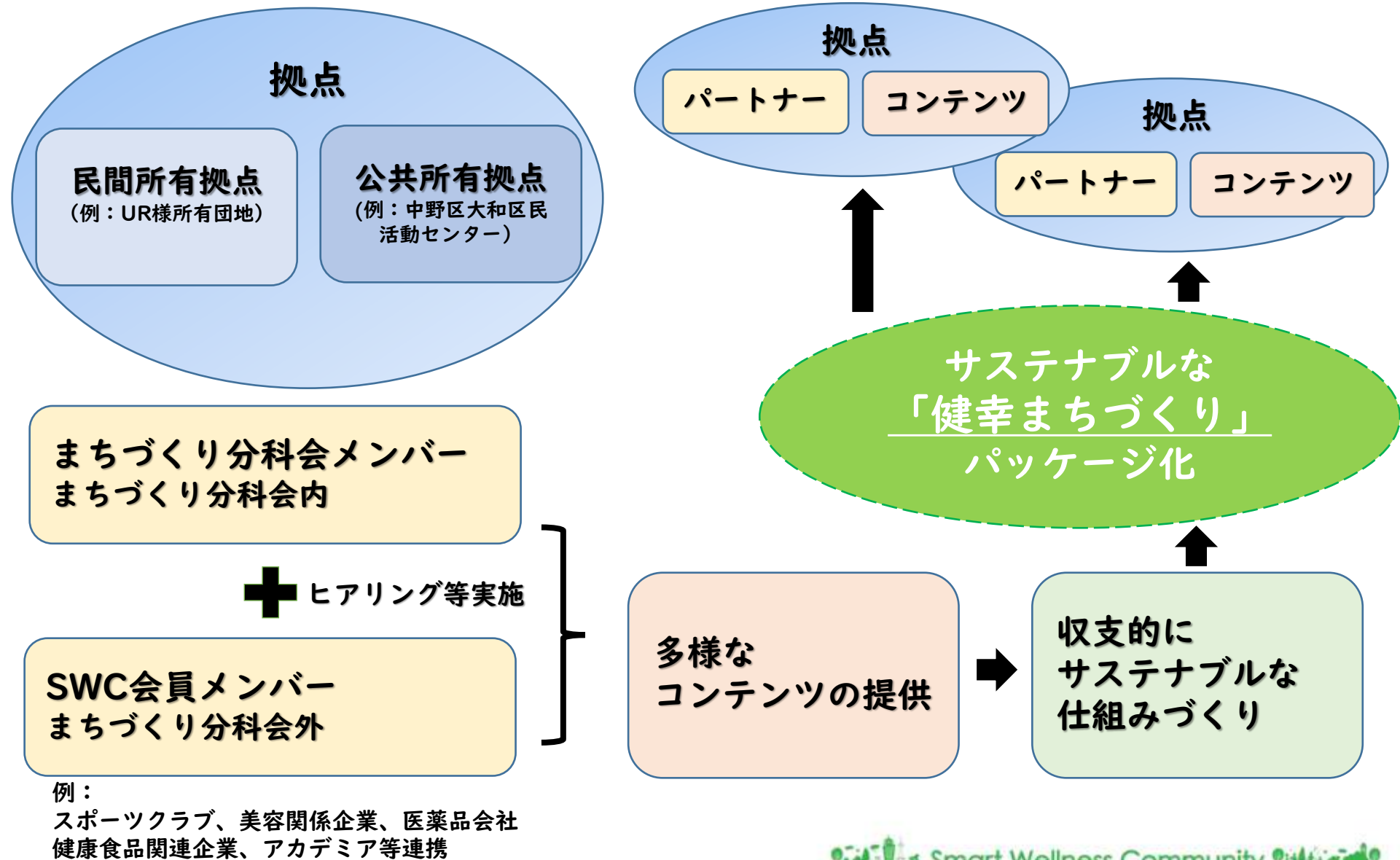
モデル都市WG参加メンバー

(敬称略・順不同)

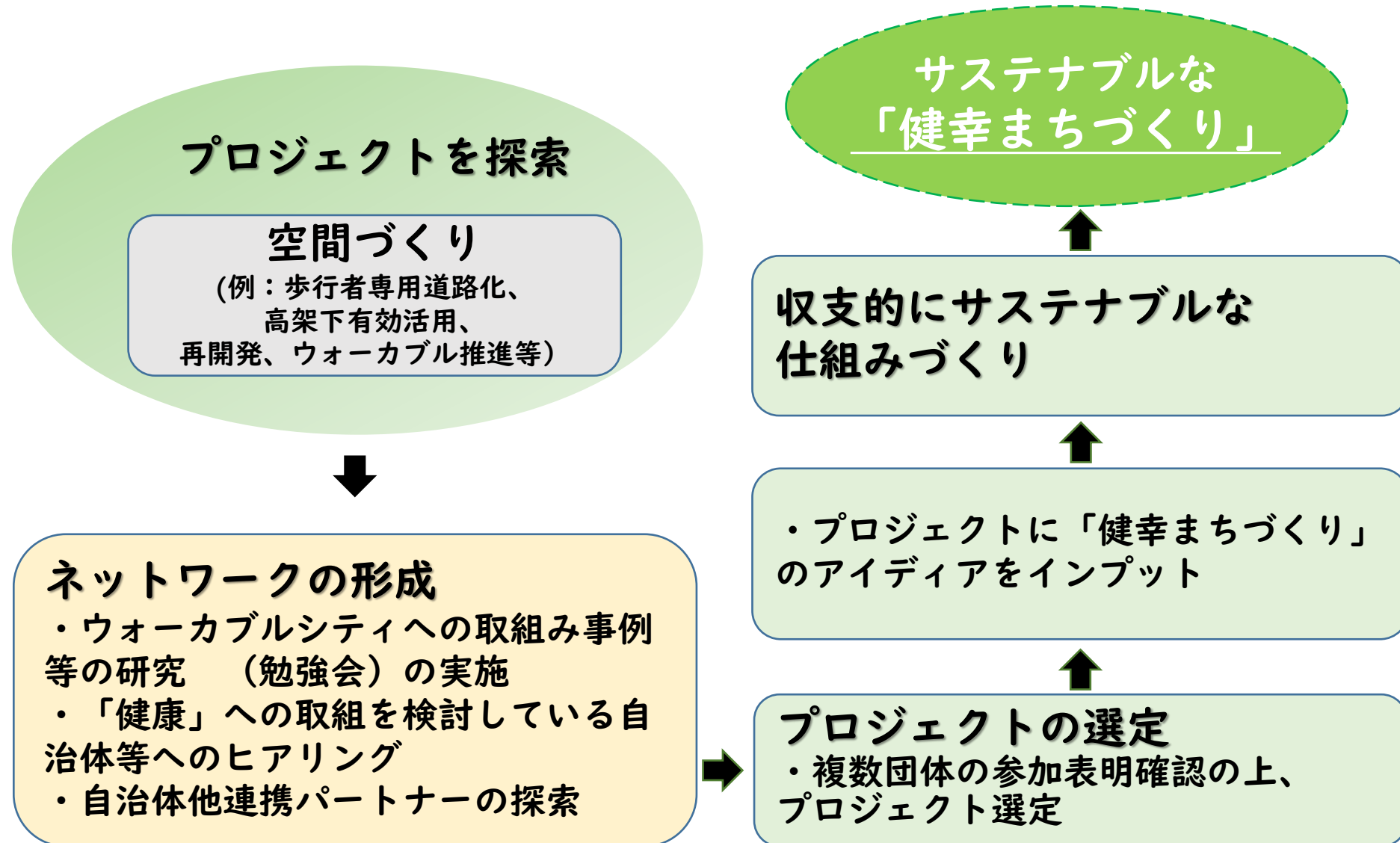
モデル都市	中野区WG	多摩市WG	さいたま市WG
座長	浅見 泰司 (東京大学教授)	鈴木 徹 (都市再生機構理事)	浅見 泰司 (東京大学教授)
幹事会社	清水建設	都市再生機構	三井不動産
WGメンバー (モデル都市・座長・ 幹事会社除く)	井上 茂	第一興商(休会中)	イオン
	つくばウエルネスリサーチ	大和ハウス工業	埼玉県 所沢市
	東京アスレティッククラブ	つくばウエルネスリサーチ	積水ハウス
	パナソニック	日本交通計画協会	つくばウエルネスリサーチ
	ポリテック・エイディディ	東日本電信電話	日建設計総合研究所
	ミサワホーム		パナソニック
オブザーバー	国土交通省	国土交通省	国土交通省

中野区WG (8団体) 座長:浅見先生 幹事:清水建設(株)	【活動方針】1.子育て世代を支援する仕組みを検討し流出を抑制する 2.通過交通がないメリットを生かし、歩行促進の仕掛けを検討する 3.空家を活用した持続可能な仕組みを検討する + 健康(スマートウェルネス)を加えて、中野版SWCを実現 【活動内容】「防災」「健康」二つのテーマを融合し、活動拠点である大和区民活動センターにおいて、体操や健康度計測、非常食試食会、避難誘導路をウォーキングルートとした街あるきを実施(各イベントには10~30名弱の参加・9割が高齢者・シリーズ化を求める声も6割)。デジタル・情報技術を活用したウォーキングイベント・空き家の利活用の検討予定だったが、コロナ禍において活動拠点の一部閉鎖により活動休止中。
多摩市WG (6団体) 座長:鈴木徹 (都市再生機構理事) 幹事:都市再生機構	【活動方針】多摩市の『健幸まちづくり』へ向けたシナリオのテーマ 1.集合住宅団地を地域の核とした健康・福祉・交流の拠点づくり 2.NTにおける高齢者の移動ニーズからみたインフラの再構築 【活動内容】URが地域医療福祉化を進めている豊ヶ丘団地の賃貸施設において、居宅介護支援事業所に併設したコミュニティスペース「健幸つながるひろば(愛称とよよん)」を開設。暮らしの相談や情報発信、イベントや講座等の開催により気軽に立ち寄れる場、つながる場、暮らしを楽しむ場として取り組み実施。 緊急事態宣言の間は拠点を閉鎖(宣言解除の間にSWC企業との連携イベントを実施)。宣言解除後、コロナ禍の状況を見定めながら多摩市WGメンバーや近隣大学との連携イベント等を企画検討。
さいたま市WG (8団体) 座長:浅見先生 幹事:三井不動産(株)	【活動方針】1.スマートシティさいたまモデルの実践 スマートシティにおける健幸への取組を検討開始 2.様々な主体が広く連携したまちづくりの推進 UDCとSWC協議会との連携の可能性について、具体的に再検討する 【活動内容】当初は、大宮と美園を対象エリアとし、氷川参道・埼玉スタジアム2002を中心とした回遊ルートの設定による健幸取組およびUDC(UDCO・UDCMi)との連携を検討。 2020年7月31日国土交通省のスマートシティ「令和2年度先行モデルプロジェクト」に「さいたま市」(さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム)が選定されたことをうけ、さいたま市WGとして「健康」に関連する部分での連携として、健康マイレージを活用した大宮駅・さいたま新都心駅周辺の回遊性向上や交通手段最適化を検討。

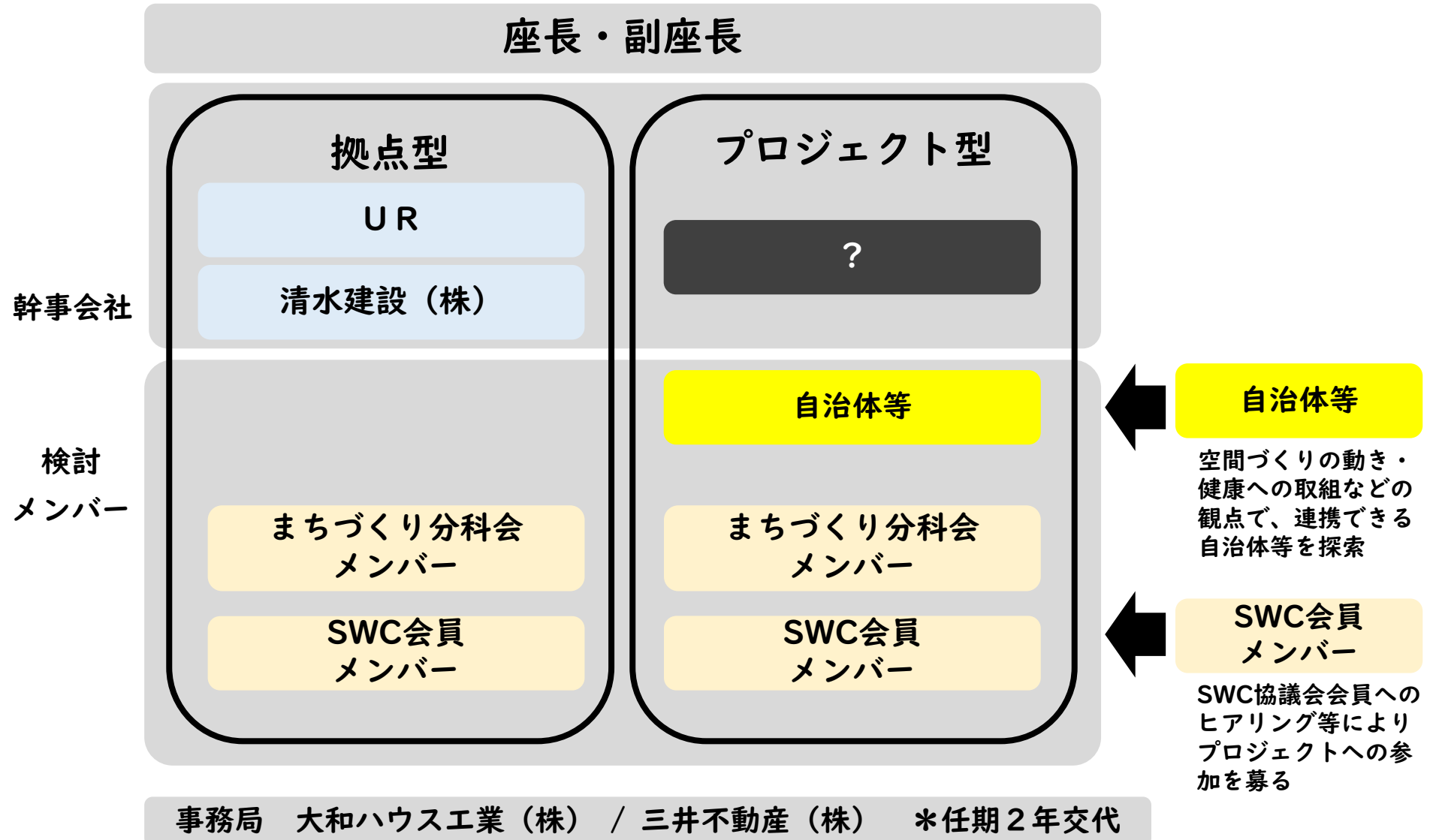
パターンI 「拠点型健幸まちづくり」



パターン2 「プロジェクト型健幸まちづくり」



運営体制【案】



「拠点型健幸まちづくり」進行・スケジュール



「プロジェクト型健幸まちづくり」進行・スケジュール

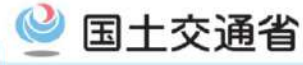
2021/10月 「座長・副座長・ WG幹事会社MT (10/19)」	11月 「まちづくり分科会 (11/10)」	12月 「中間報告会 (12/3)」	2022/1月	2月	3月
座長・副座長・WG幹事会社終了後 自治体他関係各所へのヒアリング等(プロジェクト探索/ネットワーク形成)、事例研究 等 による自治体他連携パートナーの探索					
予算申請検討 ～12月					
*活動主体 事務局（三井不動産）					

【参考】会員一覧(企業) 55社 2021年9月1日時点(50音順)

- ・ 旭化成 株式会社
(旭化成建材 株式会社)
(旭化成ファーマ 株式会社)
(旭化成ホームズ 株式会社)
(株式会社 旭リサーチセンター)
- ・ 株式会社 アシックス
- ・ アストラゼネカ 株式会社
- ・ アニコムホールディングス 株式会社
- ・ 株式会社 R-body project
- ・ イオン 株式会社
(イオン北海道 株式会社)
- ・ NECネットエスアイ 株式会社
(株式会社 NTTドコモ)
- ・ 大塚製薬 株式会社
- ・ オムロンヘルスケア 株式会社
- ・ 株式会社 カーブスホールディングス
- ・ 株式会社 カナミックネットワーク
- ・ 株式会社 クラブビジネスジャパン
- ・ 株式会社 国際開発コンサルタンツ
- ・ サントリーホールディングス 株式会社
- ・ 株式会社 資生堂
- ・ 清水建設 株式会社
- ・ スギホールディングス 株式会社
(スポーツクラブNAS 株式会社)
- ・ 積水ハウス 株式会社
- ・ SOMPOホールディングス 株式会社
(SOMPOひまわり生命保険 株式会社)
(SOMPOヘルスサポート 株式会社)
(損害保険ジャパン 株式会社)
- ・ 第一生命保険 株式会社
(株式会社 第一生命経済研究所)
(第一フロンティア生命保険 株式会社)
- ・ 大和ハウス工業 株式会社
- ・ 株式会社 タニタ
(株式会社 タニタヘルスリンク)
- ・ 株式会社 つくばウエルネスリサーチ
- ・ 株式会社 ディー・エヌ・エー
- ・ 株式会社 電通
(株式会社 電通西日本)
- ・ 株式会社 東京アスレティッククラブ
- ・ 東京電力エナジーパートナー 株式会社
- ・ 株式会社 日建設計総合研究所
- ・ 日本電信電話 株式会社
- ・ 株式会社 白寿生科学研究所
- ・ パナソニック 株式会社
- ・ PwCコンサルティング 合同会社
(東日本電信電話 株式会社)
- ・ 株式会社 日立システムズ
(フェリカポケットマーケティング 株式会社)
- ・ 株式会社 ポリテック・エイディディ
- ・ ミサワホーム 株式会社
- ・ 三井不動産 株式会社
- ・ 三井物産 株式会社
- ・ 森永乳業 株式会社
- ・ 株式会社 読売新聞東京本社

※ () 書きはグループ企業として登録企業
下線はまちづくり分科会参加企業
(赤字はモデル都市WG参加企業)

「まちなかウォーカブル推進プログラム(令和2年度予算決定時点版)」



- 令和元年6月26日、「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」の提言として、『「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生』がとりまとめられました。

※報告書は右サイト参照 http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05_hh_000249.html

- これを受け、国土交通省では、「まちなかウォーカブル推進プログラム(令和2年度予算決定時点版)」として、関連する令和2年度予算や税制改正、検討会・懇談会、作成予定の事例集等を取りまとめました。
- また、今回の提言に共鳴し、ともに取組を進める「ウォーカブル推進都市」に、**202団体の賛同**(12月13日現在)がありました。ウォーカブル推進都市をパートナーとして、強力に施策を推進していきます。

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりのキーワード

Walkable 歩きたくなる **E**ye level まちに開かれた1階 **D**iversity 多様な人の多様な用途、使い方 **O**pen 開かれた空間が心地良い



令和2年度税制改正

公共空間の拡大につながる民地の開放・施設の改修等を推進

○ 居心地が良く歩きたくなるまちなか創出のための特例措置の創設

- ① 公共空間の拡大を図るため公共施設等の用に供した土地及び当該土地の上に設置した償却資産に係る課税の特例
【固定資産税(土地・償却資産)・都市計画税(土地)】
道路、広場等の用に供する土地及びこれらの上に設置された芝生、ベンチ等の償却資産の課税標準額を5年間1/2に軽減
- ② 公共空間の充実を図るために改修した家屋(原則として1階部分)に係る課税の特例
【固定資産税・都市計画税】
オープン化(ガラス張り化等)した改修後の家屋(※)のうち市町村の認める範囲(不特定多数の者が自由に交流・滞在できるスペースに限る)の課税標準額を5年間1/2に軽減
(※) 食事施設、購買施設、休憩施設、案内施設その他これらに類するものに該当するもの
→ (1)人中心のまちなかへの修復・改変(リノベーション)



1階をガラス張りの店舗にリノベーションするとともに、民間敷地の一部を広場化(宮崎県日南市)

※「→」は懇談会の提言としてまとめられた～国による「10の施策」～における関連項目

ウォークブル推進都市一覧（令和3年7月31日時点）

※ウォークブル推進都市は随時募集を受け付けている。

1 北海道札幌市	31 福島県福島市	61 埼玉県志木市	91 東京都杉並区	121 石川県金沢市	151 静岡県三島市
2 北海道函館市	32 福島県会津若松市	62 埼玉県和光市	92 東京都豊島区	122 石川県小松市	152 静岡県島田市
3 北海道旭川市	33 福島県郡山市	63 埼玉県幸手市	93 東京都荒川区	123 石川県加賀市	153 静岡県富士市
4 北海道室蘭市	34 福島県白河市	64 埼玉県美里町	94 東京都足立区	124 石川県能美市	154 静岡県焼津市
5 北海道釧路市	35 福島県須賀川市	65 埼玉県上里町	95 東京都八王子市	125 石川県野々市市	155 静岡県掛川市
6 北海道北広島市	36 福島県棚倉町	66 埼玉県宮代町	96 東京都武蔵野市	126 福井県福井市	156 静岡県藤枝市
7 北海道黒松内町	37 茨城県水戸市	67 埼玉県杉戸町	97 東京都三鷹市	127 福井県敦賀市	157 静岡県袋井市
8 北海道栗山町	38 茨城県土浦市	68 千葉県千葉市	98 東京都府中市	128 福井県大野市	158 静岡県下田市
9 北海道沼田町	39 茨城県石岡市	69 千葉県木更津市	99 東京都調布市	129 福井県鯖江市	159 静岡県湖西市
10 北海道東神楽町	40 茨城県下妻市	70 千葉県松戸市	100 東京都町田市	130 福井県あわら市	160 愛知県名古屋市中区
11 北海道上市幌町	41 茨城県笠間市	71 千葉県野田市	101 東京都東村山市	131 福井県越前市	161 愛知県豊橋市
12 青森県青森市	42 茨城県取手市	72 千葉県習志野市	102 東京都国分寺市	132 山梨県甲府市	162 愛知県岡崎市
13 青森県弘前市	43 茨城県つくば市	73 千葉県柏市	103 東京都福生市	133 長野県	163 愛知県一宮市
14 青森県八戸市	44 茨城県ひたちなか市	74 千葉県市原市	104 東京都狛江市	134 長野県長野市	164 愛知県瀬戸市
15 青森県黒石市	45 茨城県大洗町	75 千葉県流山市	105 東京都多摩市	135 長野県松本市	165 愛知県半田市
16 青森県五所川原市	46 茨城県境町	76 千葉県八千代市	106 東京都稲城市	136 長野県岡谷市	166 愛知県春日井市
17 青森県十和田市	47 栃木県宇都宮市	77 千葉県酒々井町	107 神奈川県横浜市	137 長野県諏訪市	167 愛知県刈谷市
18 青森県むつ市	48 栃木県足利市	78 千葉県白子町	108 神奈川県川崎市	138 長野県小諸市	168 愛知県豊田市
19 岩手県盛岡市	49 栃木県小山市	79 千葉県長柄町	109 神奈川県相模原市	139 長野県茅野市	169 愛知県安城市
20 岩手県花巻市	50 栃木県下野市	80 東京都	110 神奈川県鎌倉市	140 長野県佐久市	170 愛知県蒲郡市
21 宮城県仙台市	51 栃木県上三川町	81 東京都千代田区	111 神奈川県逗子市	141 岐阜県岐阜市	171 愛知県犬山市
22 宮城県塩竈市	52 群馬県前橋市	82 東京都新宿区	112 神奈川県厚木市	142 岐阜県大垣市	172 愛知県新城市
23 宮城県柴田町	53 群馬県館林市	83 東京都台東区	113 神奈川県大和市	143 岐阜県高山市	173 愛知県東海市
24 秋田県秋田市	54 埼玉県さいたま市	84 東京都墨田区	114 新潟県新潟市	144 岐阜県関市	174 愛知県大府市
25 秋田県横手市	55 埼玉県熊谷市	85 東京都品川区	115 新潟県長岡市	145 岐阜県美濃加茂市	175 愛知県知多市
26 秋田県湯沢市	56 埼玉県所沢市	86 東京都目黒区	116 新潟県三条市	146 岐阜県各務原市	176 愛知県尾張旭市
27 秋田県鹿角市	57 埼玉県本庄市	87 東京都大田区	117 新潟県見附市	147 静岡県静岡市	177 三重県
28 秋田県由利本荘市	58 埼玉県春日部市	88 東京都世田谷区	118 新潟県上越市	148 静岡県浜松市	178 三重県津市
29 山形県山形市	59 埼玉県戸田市	89 東京都渋谷区	119 富山県富山市	149 静岡県沼津市	179 三重県四日市市
30 福島県	60 埼玉県朝霞市	90 東京都中野区	120 富山県高岡市	150 静岡県熱海市	180 三重県伊勢市

ウォークブル推進都市一覧（令和3年7月31日時点）

※ウォークブル推進都市は随時募集を受け付けている。

181 三重県松阪市	211 大阪府河内長野市	241 岡山県倉敷市	271 福岡県飯塚市	301 大分県豊後大野市
182 三重県桑名市	212 大阪府羽曳野市	242 岡山県高梁市	272 福岡県田川市	302 大分県由布市
183 三重県鈴鹿市	213 大阪府門真市	243 広島県広島市	273 福岡県柳川市	303 大分県国東市
184 三重県名張市	214 大阪府高石市	244 広島県呉市	274 福岡県春日市	304 大分県日出町
185 三重県亀山市	215 大阪府東大阪市	245 広島県三原市	275 福岡県大野城市	305 大分県玖珠町
186 三重県熊野市	216 大阪府大阪狭山市	246 広島県尾道市	276 福岡県古賀市	306 宮崎県宮崎市
187 三重県朝日町	217 大阪府熊取町	247 広島県福山市	277 福岡県うきは市	307 宮崎県小林市
188 三重県明和町	218 兵庫県神戸市	248 広島県府中市	278 福岡県川崎町	308 宮崎県綾町
189 滋賀県大津市	219 兵庫県姫路市	249 山口県宇部市	279 佐賀県	309 宮崎県高鍋町
190 滋賀県彦根市	220 兵庫県尼崎市	250 山口県山口市	280 佐賀県佐賀市	310 宮崎県川南町
191 滋賀県草津市	221 兵庫県西宮市	251 山口県防府市	281 佐賀県基山町	311 鹿児島県霧島市
192 滋賀県守山市	222 兵庫県伊丹市	252 山口県長門市	282 佐賀県上峰町	312 鹿児島県始良市
193 滋賀県東近江市	223 兵庫県西脇市	253 山口県周南市	283 長崎県長崎市	313 鹿児島県中種子町
194 滋賀県愛荘町	224 兵庫県加西市	254 徳島県徳島市	284 熊本県熊本市	314 沖縄県うるま市
195 京都府京都市	225 兵庫県新温泉町	255 徳島県阿南市	285 熊本県菊池市	
196 京都府長岡京市	226 奈良県大和郡山市	256 香川県高松市	286 熊本県南関町	
197 京都府八幡市	227 奈良県桜井市	257 香川県丸亀市	287 熊本県益城町	
198 京都府南丹市	228 奈良県宇陀市	258 香川県坂出市	288 熊本県あさぎり町	
199 京都府久御山町	229 奈良県田原本町	259 香川県善通寺市	289 大分県	
200 大阪府大阪市	230 奈良県上牧町	260 香川県観音寺市	290 大分県大分市	
201 大阪府堺市	231 奈良県王寺町	261 香川県多度津町	291 大分県別府市	
202 大阪府岸和田市	232 和歌山県和歌山市	262 愛媛県松山市	292 大分県中津市	
203 大阪府豊中市	233 鳥取県鳥取市	263 愛媛県大洲市	293 大分県日田市	
204 大阪府池田市	234 鳥取県米子市	264 愛媛県内子町	294 大分県佐伯市	
205 大阪府泉大津市	235 鳥取県倉吉市	265 高知県高知市	295 大分県臼杵市	
206 大阪府高槻市	236 鳥取県境港市	266 高知県南国市	296 大分県津久見市	
207 大阪府貝塚市	237 島根県松江市	267 高知県四万十市	297 大分県竹田市	
208 大阪府枚方市	238 島根県江津市	268 福岡県北九州市	298 大分県豊後高田市	
209 大阪府茨木市	239 島根県津和野町	269 福岡県福岡市	299 大分県杵築市	
210 大阪府八尾市	240 岡山県岡山市	270 福岡県久留米市	300 大分県宇佐市	

314の推進団体
SWC協議会加入自治体23
首長研究会参加自治体45

官民の連携により「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を実現

予算・税制等のパッケージ支援により、公共空間の拡大・改変・利活用を推進



(参考) 官民連携のモデル事例

(品川区 天王洲アイル)

- 行政が整備した護岸と連続する民地上に、地権者が一体的な仕様のウッドデッキを設置。
- デッキに面する建物1階部分をオープン化(ガラス張り化)し、用途を事務所から誰もが利用できるスペースに転換。



(松山市 花園町通り)

- 片側3車線あった道路を片側1車線に減らし、歩行空間を拡大するとともに、沿道施設と一体となった整備及び利活用等を行うことで、街路空間をウォーカブルな空間へと再構築。



日時	会議名	概要
10月19日(火)	座長・副座長・WG幹事会社 ミーティング(リモート開催)	今後の活動方針を協議
11月10日(水)	第16回まちづくり分科会 (リモート開催)	今後の活動方針を共有
12月3日(金) (本日)	SWC協議会 中間報告会 (リモート開催)	各分科会の進捗状況共有
4月 開催予定	座長・副座長・WG幹事会社 ミーティング(リモート開催?)	まちづくり分科会の活動状況報告と 2022年度の方向性を共有
5月 開催予定	第17回まちづくり分科会 (リモート開催?)	まちづくり分科会の活動状況報告と 2022年度の方向性を共有
6月 開催予定	SWC協議会 会員総会 (集合&リモート併用開催?)	各分科会の進捗状況共有

2021年11月10日開催の「まちづくり分科会」にて、ワーキンググループの再編を実施することとなりました。

つきましては、下記の通り「拠点型 健幸まちづくりワーキンググループ（略称：拠点型WG）」への参加を募集いたします。

記

1. 活動拠点 健幸つながるひろば（愛称：とよよん） [＜参考＞とよよんホームページリンク](#)
（住所：東京都多摩市豊ヶ丘4-2-5-107）
2. 活動内容 上記の活動拠点をベースとし、健幸に資するコンテンツの実施等により、「拠点型 健幸まちづくり」を目指します。
コンテンツをお持ちの方、コンテンツをお持ちではないもののアイデアをお持ちの方、本活動に興味のある方、幅広い方のご参加をお待ちしております。
3. 幹事会社 独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）様、清水建設株式会社様
4. 参加要件 SWC協議会会員であること
5. 連絡先 SWC協議会まちづくり分科会 事務局 三井不動産株式会社 玉田
電話：070-4847-5558 メール：saw-tamada@mitsuifudosan.co.jp
6. 参加締切 2021年12月24日（金）
（一旦期日にて締切とさせていただきますが、随時WGへの参加は可能です）
7. その他 拠点型WGへの参加にあたり、SWC協議会会費以外の費用は発生しません。
ただし、交通費をはじめ活動にあたっての費用は各自のご負担となります。



スポーツクラブNAS様との連携イベント
「みんなで健幸体操」の様子
Zoomを利用したオンライン指導による健幸体操

分科会活動報告⑤

「地域健幸ビジネス分科会」

丹羽 隆史 副座長
(株式会社タニタヘルスリンク 取締役会長)

分科会・PJ名：地域健幸ビジネス分科会

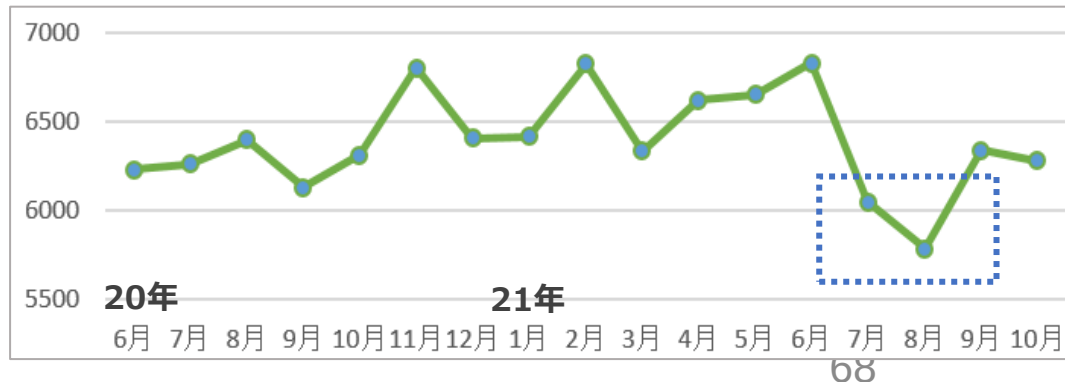
■三島市での取り組み

・健康無関心層の取り込み

- ✓ 地域健幸ビジネス分科会参画企業とともにペット愛好家向けイベントを開催（時期については調整中）。
- ✓ イベントを通じて三島市の健康増進事業を告知するとともにイベントにあわせて開設予定のペット愛好家のコミュニティサイトと健康増進事業サイトを連携させ、健康への関心を高める施策（プッシュ通知等で情報発信等）を通じて同事業の参加者数拡大を図る。

・コロナ禍における歩数状況と減少対策（次ページへ続く）

- ✓ 感染拡大が続いていた21年7月・8月の平均歩数が大幅減。9月以降上昇しているものの、感染拡大前のレベルにまで回復していない（下図）。



分科会・PJ名：地域健幸ビジネス分科会

■三島市での取り組み

- コロナ禍における歩数状況と減少対策
 - ✓ 密を避けて楽しみながらウォーキングができる施策として、スマートフォン向けのウォーキングアプリを活用。
 - ✓ スマートフォンの画面上のコースにチェックポイントを設け、デジタルバッジやキャラクターなどを収集しながらチェックポイントを巡るコンテンツ(新規)で歩数増加を図る。
- 感染予防対策をとりながら事業を推進し、目標達成(2023年度)を目指す
 - ✓ 健康増進事業の参加者数 2,000人 → 4,000人
 - ✓ 健幸アンバサダーを734人→1,500人
 - ✓ アンバサダー講座についてはコロナ禍で開催が延期となっていたため、21年度中に再開できるよう調整を行う。
- 市民が健康情報に触れる機会の増加策として、測定拠点を追加設置(ハクジュプラザ内)
 - ✓ 20年12月～延べ6,280回の利用(延べ人数136人)
 - ✓ ポイント交換実績延べ390回

